

| 全5回 | 東京文化会館 小ホール

「奇跡の音響」と称される小ホールで贅沢なひと時を。
一流アーティストによる珠玉のコンサートをお楽しみください。

2016年(平成28年)

6/6(月) 19:00

クラウス・フロリアン・
フォークト

～スターテノールが歌う「水車屋の娘」～

【出演】

クラウス・フロリアン・フォークト(テノール)
ヨブスト・シュナイデルラート(ピアノ)
Klaus Florian Vogt, Tenor
Jobst Schneiderat, Piano

【曲目】

■シューベルト: 歌曲集「美しい水車屋の娘」
Schubert: Die schöne Müllerin



©Mario Garcia Joya

10/6(木) 19:00

ゴンサロ・ルバルカバ

～キューバが誇る世界的ジャズ・ピアニスト～

【出演】

ゴンサロ・ルバルカバ(ピアノ)
Gonzalo Rubalcaba, Piano

【曲目】

当日発表
to be announced on the day



■5回セット券 [3/5(土) 発売] 期間限定販売 3/5(土)～3/19(土)
S 24,300円 A 19,800円
※セット券は電話・窓口のみ受付

■1回券 第1～4回: 4/2(土) 発売 第5回: 11/3(木・祝) 発売
第1回: S 7,000円 A 6,000円 B 4,000円
第2～5回: S 5,000円 A 4,000円 B 2,500円

主催: 東京都 / 東京文化会館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

お問合せ: 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111(代表) www.t-bunka.jp

©Masaya Takagi

11/2(水) 19:00

タチアナ・ヴァシリエヴァ

～無伴奏チェロの若き至宝～

【出演】

タチアナ・ヴァシリエヴァ(チェロ)
Tatjana Vassiljeva, Cello

【曲目】

■J.S. バッハ: 無伴奏チェロ組曲第1番、第5番
■コダーイ: 無伴奏チェロ・ソナタ
J.S. Bach: Cello Suite No.1, No.5
Kodály: Sonata for Cello Solo



©Masaya Takagi

9/22(木・祝) 16:00

浜田理恵

～言葉は歌い、音楽は語る～

【出演】

浜田理恵(ソプラノ) Rie Hamada, Soprano
晴 雅彦(バリトン) Masahiko Hare, Baritone
中村真美(クラリネット) Mami Nakamura, Clarinet
山本直輝(チェロ) Naoki Yamamoto, Cello
三ツ石潤司(ピアノ) Junji Mitsuishi, Piano

【曲目】

■サティ: 帽子屋 Satie: Le Chapelier
■プーランク: 「くじびき」より Poulenc: La Courte Paille
■三ツ石潤司: 音楽遊戯「アリスの国の不思議」(新作初演) 他
Junji Mitsuishi: Wonder in Alice's Land (World Premiere) etc



4

©Sasha Gusov

2017年(平成29年)

2/17(金) 19:00

渡辺貞夫

～ジャズ界のスーパー・レジェンド～

【出演】

渡辺貞夫(サクソフォン) 他
Sadao Watanabe, Saxophone etc

【曲目】

当日発表
to be announced on the day

■お申込み ●東京文化会館チケットサービス
……03-5685-0650 www.t-bunka.jp
●イープラス…… http://eplus.jp/t-bunka/
●ローソンチケット…… 0570-000-407
●チケットぴあ…… 0570-02-9999

1 2016年6/6(月) 19:00 クラウス・フロリアン・フォークト (テノール)



©Alex Lipp

Klaus Florian Vogt, Tenor

ハノーファーとハンブルクの音楽大学でホルンを学び、ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団のホルン奏者として活動する。並行してリュベック音楽大学でギュンター・ビンゲ教授に師事し声楽を学び、1997年/98年シーズンより、フレンスブルク州立劇場と契約。その後、ワーグナー作品でデビューを果たし、マドリッド、パリ、ミュンヘン、ミラノ、ニューヨーク、ロンドン、東京、バイロイト音楽祭などに出演し、今や世界で最も重要なテノール歌手の一人となった。07年夏にはバイロイト音楽祭にデビューし、カタリーナ・ワグナー演出の《マイスタージンガー》の新プロダクションで、ワルター・フォン・シュトルツィング役で大成功を収め、それ以降毎年バイロイトに出演している。今日では、ローエングリンやバルジファル、ホフマンといったドラマチックな役どころをレパートリーとしている。12年、エコー・クラシック年間最優秀歌手。

2 9/22(木・祝) 16:00 浜田理恵 (ソプラノ)



Rie Hamada, Soprano

東京芸術大学卒業および同大学院修士課程修了(中村浩子氏に師事)後、パリに留学、イザベル・ガルシザンズ氏に声楽を、イレヌ・アイトフ氏にフランス歌曲を学ぶ。91年シャトレ劇場にてデュカ「アリアーヌと青ひげ」でオペラデビュー。92年、第19回パリ国際声楽コンクールオペラ部門第1位。国立バリバステューユオペラでオネゲル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」をチョン・ミンフンの指揮の下で歌い絶賛される。以後、フランスを中心に数多くのオペラに出演。また、ブーレーズ率いるアンサンブル・アンテルコンタンポランとザルツブルク音楽祭を含むヨーロッパツアーを行う。日本においては、各地のオーケストラ、新国立劇場を始めとするオペラ公演に数多く招かれている。97年出光音楽賞受賞。現在、御茶ノ水女子大学非常勤講師、フランス在住。

3 10/6(木) 19:00 ゴンサロ・ルバルカバ (ピアノ)



©Mario Garcia Joya

Gonzalo Rubalcaba, Piano

1963年、革命後のハバナ生まれ。才能に溢れる、モダンジャズ界を代表するアーティストである。ハバナのインスティテュート・オブ・ファイン・アーツ作曲科を卒業。10代半ばにはジャズ・クラブ等でドラマーやピアニストとしても活躍し、大学卒業後はポピュラー・ミュージシャンの世界へ身を投じる。85年にディジー・ガレスピー、86年にはブルーノート・レコードのブルース・ランドヴォール社長と運命的な出会いを果たし、これを端に91年はドミニカ共和国へ、96年にはマイアミへと活動の拠点を移した。海外レコーディングした一連の作品は東芝EMIおよびブルーノート・レコードからリリースされ、過去14年で4度グラミー賞を受賞。ノミネートに至っては15回を記録している。レパートリーは「正統派」ジャズからビー・バップ、アフロキューバン・ジャズ、そしてキューバやメキシコの伝統的なバラード、ボレロまで広がりを見せ、今ではキューバの古典的な作品にまで及んでいる。ルバルカバの芸術は常に進化し、アフロキューバンの伝統からインスピレーションを受け続けている。

東京文化会館
小ホール
[649席]



4 11/2(木) 19:00 タチアナ・ヴァシリエヴァ (チェロ)



©Sasha Gusov

Tatjana Vassiljeva, Cello

“驚くべき天才”と評され、非の打ち所のないテクニックと魅力的な響きの幅を併せ持つ音楽家。6歳でチェロを始め、1994年にミュンヘン国際コンクールで第2位となり、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学でダーヴィド・ゲリングスに師事して修士号を得た。2001年第7回ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクール第1位、05年フランス音楽大賞“海外の新人”賞を受賞。これまでにロシア国立響、パリ管、チューリッヒ・トーンハレ管、ベルリン・ドイツ響等と、ロストロポーヴィチ、デミルカーノフ、エッセンバッハ、キタエンコ等の指揮で共演。近年では、アロンドラ・デ・ラ・ペーラ指揮トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、パーヴォ・ヤルヴィ指揮パリ管との共演など多くの共演が絶賛を博している。室内楽にも積極的に取り組み、ロッケンハウス、シャンベリー、フォル・ジュルネ、シュレスヴィヒ=ホルシュタインなど多くの国際音楽祭に出演、バシュメット、クレメル、ヴェンゲーロフ、スクリデ、ヌーブルジェ、タメスティ、カブソン兄弟、バドゥラ=スコダらと共演している。これまでに9枚のCDをリリースしており、受賞多数。

5 2017年2/17(金) 19:00 渡辺貞夫 (サクソフォン)



©Masaya Takagi

Sadao Watanabe, Saxophone

1933年宇都宮生まれ。18歳で上京後、秋吉敏子のコーギー・カルテットをはじめ数々のバンドに参加。パーカー音楽大学への留学等を経て、日本を代表するトップミュージシャンとして、ジャズの枠に留まらない独自のスタイルで世界を舞台に活躍。2005年「愛知万博」では世界中から集まった子供達400人と、国境や文化を越えた歌とリズムの共演という長年の夢を実現させ、それらの活動は海外へ広がる。近年は国立音楽大学の招聘教授として次世代の育成に今日も力を注いでいる。15年4月の渡辺貞夫オーケストラ・ライブ盤「I'm with you」に続き、10月にはブラジルのチェロ奏者ジャキス・モレレンバウムとの共同プロデュースによるアルバム「Naturally」をリリース。12月には新作発表となる「SADAO WATANABE NATURALLY」公演を全国6都市で開催。軽やかなサンバのリズムや美しいストリングス・アンサンブルと共に奏でられるサクソとチェロの共演は、渡辺貞夫の新たな音楽の世界を創り上げた。ブラジル音楽への50年近くの功績を讃えられ、ブラジル最高勲章の一つ「リオ・ブランコ国家勲章」を受章。国内のみならず、海外に於いても精力的に演奏活動を行う生涯現役プレイヤーのその姿は、世界中の老若男女に勇気と感動を与えている。<http://www.sadao.com/>

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Music Education Program》を開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

